

# CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議/ビデオ会議・Web会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 9. No.11 2007年5月31日号

編集: [editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告: [pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録: <http://cnar.jp>

Copyright 2007 CNA Report Japan. All rights reserved.

## ニュース

### WebEx ジャパン、SaaS モデルのグループウェアサービスの開始、今後は Web 会議機能追加も予定

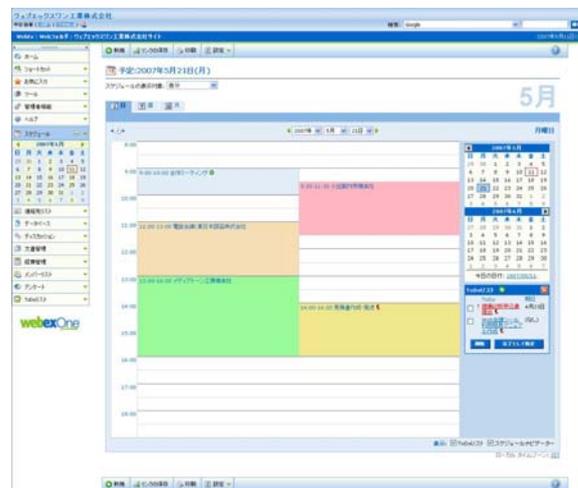
ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン株式会社(東京都港区)は、SaaS モデルの中小企業向けグループウェアサービス「WebExOne(ウェブエックス・ワン)」の受注・サービス提供を開始した。

WebExOne は、社内外・グループ間で情報を共有するグループウェアサービス。スケジュール管理、文書共有、伝言板などの機能を、標準的なブラウザとインターネット接続のみで利用できる。

昨年 WebEx が事業統合したイントラネット社のグループウェアサービス「Intranets PRO(イントラネットプロ)」に新機能を追加するなどを行い、WebEx のサービスとして今回日本市場に投入する。



WebExOne-お知らせ、新着情報、スケジュール、ToDoリスト、アンケート、リンクなどのメニューを表示



予定表の画面

これによって、WebEx は、リアルタイムの Web 会議サービスだけでなく今回の非リアルタイムであるグループウェアサービスを併せて、WebEx ブランドの下で提供できる体制となった。

同社代表取締役 田野 豊氏は、同社プレスリリースで以下のコメントを出している。「WebExOne の投入によって WebEx は、シェア 60%を誇るリアルタイムのコラボレーション手段である Web 会議から、非リアルタイムの情報共有手段であるグループウェアまで、包括的な Web コラボレーション・ツールを SaaS モデルで提供することのできるサービス体制が日本市場で整った。これを機に、急成長している WebEx の日本におけるビジネスの拡大を、いっそう加速させることができると確信している。」

また、同社で 5 月 17 日にて開催されたオンラインセミナーで今後の WebExOne の展開のひとつに、WebExOne のグループウェアに Web 会議機能を追加していくことも予定しているとの説明もあった。

WebExOne の利用料金は、5 ユーザーから 500 ユーザーの 8 段階あり最小の 5 ユーザー (Workgroup5) は、250MB のディスクが付き月額 5,040 円 (税込)。最大の 500 ユーザー (Corporate500) は、10GB のディスクが付き、月

額 239,400 円(税込)。オプションで SSL 暗号化やディスク容量追加なども行える。1ヶ月無料体験も提供している。

## 沖電気と TCB テクノロジーズ、ビデオ会議システム事業の譲渡契約を締結

沖電気工業株式会社(東京都港区)は、TCB テクノロジーズ株式会社(東京都港区)の Visual Nexus(ビジュアルネクサス)事業を譲り受けることで、5月17日譲渡契約を締結。今回の契約に伴い、Visual Nexus の国内外の販売権、知的財産権及び設備などを譲り受ける。



Visual Nexus

Visual Nexus は、TCB テクノロジーズが 2003 年 4 月に発表以降国内外で、製造、流通小売業、金融業等 200 社以上導入されているソフトウェア型ビデオ会議システム。H.323 と SIP に対応しており、専用型のビデオ会議端末や、IP 電話システムとの相互接続性(お互いに通話ができること)をサポートしている。今後沖電気工業は、同社の IP ソリューションに Visual Nexus を加え国内外に販売展開を推進する。

今回の背景として、沖電気工業は、エンタープライズ市場に向けて、音声・映像・データを融合したシステム(トリプルプレー)を実現する IP テレフォニーサーバー「IP CONVERGENCE Server SS9100」、コンタクトセンタシステム「CTstage 5i」、ネットワーク対応型デジタルビデオレコーダ「VisualCast VBOX-S/500」などの IP コミュニケーションに向

けたソリューションを今まで幅広く提供して来たとともに、昨今は、今後の次世代ネットワーク(NGN)構築の本格化を視野に入れ、ソリューションの一層の拡大及び強化を行っている。

今回譲り受ける Visual Nexus は、その取り組みの一環として行われ、既存商品とも連携させつつ企業ユーザーに向けた販売を行っていく。また、沖電気工業の関連子会社の沖電気ネットワークインテグレーション株式会社(東京都江東区)が、2003 年より TCB テクノロジーズの一次代理店として、Visual Nexus の販売からコンサルティング、運用保守までワンストップでビデオ会議ソリューションを提供してきたが、今後も沖電気ネットワークインテグレーションでも事業拡大を行っていく考え。

## NTT アイティ、MeetingPlaza Web 会議へ電話で参加できるサービスを開始、安価な電話会議サービスとしても利用可能

NTT アイティ株式会社(神奈川県横浜市)は、同社が提供する Web 会議サービス「MeetingPlaza(ミーティングプラザ)電網会議室」で、固定の一般電話や携帯電話から音声のみによる会議への参加を可能とする電話接続サービスを 5 月 23 日から開始した。

このサービスによって、PC とインターネット環境がないユーザーでも、電話機から MeetingPlaza で行う Web 会議に音声のみによる参加ができるということ。

このサービスは、MeetingPlaza 電話接続ゲートウェイを、従来の MeetingPlaza 電網会議室サーバーと連動させて提供されるもので、電話による参加者は、このゲートウェイ経由で電網会議室サーバーに接続し会議に参加するという仕組み。電話参加者側はゲートウェイ経由で会議室へ接続の際に、指定された自分専用の ID 番号を入力して会議室に参加する流れになる。

また、このサービスを使うことで、電話のみで行う会議も可能となる。その場合、1ユーザー/分あたりのサービス利用料金は、既存の電話会議サービスと比較して1/3程度

と安価な電話会議サービスとしても活用することが可能。また、既存の電話会議サービスでは、オプション扱いであることの多い会議の録音・再生機能(PCに保存、再生時もPCを利用。通話料金は不要。)、資料・アプリケーション共有機能を標準サービスとして追加料金なしで利用することもできる。但し、電話機から電話接続ゲートウェイまでの通話料金はその参加者の負担となる。

このサービスは、MeetingPlaza 電網会議室サービスの新規及び既存ユーザーには追加料金不要の標準サービスとして提供するが、現在ライセンスパッケージを購入して自社で MeetingPlaza サーバーを運用している場合は別途相談となっている。

### NOVA、上海で IP-TV やテレビ電話を使った遠隔コンテンツサービスを中国企業と開始

株式会社 NOVA(大阪府大阪市)は、NOVA の IP-TV やテレビ電話を使った遠隔コンテンツサービスを中国で開始すると発表。

このサービス開始にあたり、NOVA は、上海電信遠程教育センター(中心)と上海瀚信息科技有限公司の2社と合意。このプロジェクトは上海市科学技術委員会の支援プロジェクトとして進められる。

サービス提供にあたっては、NOVA が「お茶の間留学」で培った IP テレビ電話の技術とライブで行う双方向の遠隔サービスのネットワークの仕組み、さらにネットワークセンターのマネージメントのノウハウを組み合わせる。

上海電信遠程教育センターは、中国電信(チャイナテレコム)の 100%子会社である上海信息产业集团有限公司(上海テレコム)が運営する事業部門であり、「お茶の間留学センター」のネットワークを担当する。

また同センターは、すでに上海地域で、インターネットを利用した双方向サービス、大学間、CDN 網(Content Delivery Network)などの高品質ネットワークインフラを整備しており、IP-TV、教育関連ホームページなどのコンテンツを提供している。さらに、オンラインで交通大学、上海師範大学、上海外国語大学などの授業を配信しており、遠隔で学位を取得する学生の数は年間15万人。

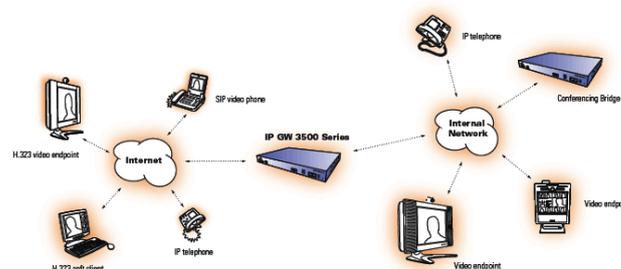
今回提供されるサービスは、自宅のできる外国語会話レ

ッスン「お茶の間留学」だけではなく、学生向けの遠隔家庭教師サービスも行われる。中国は国土が広く都市圏でさえも住民は広域にわたって住んでいるため、一カ所の語学教室や学習塾では需要に十分応えられないのが現状という。

### 【海外 news】Codian 社、SIP/H.323 ゲートウェイ装置を発売、また、テレビ会議管理運営システム、SD画質のテレビ会議システムをHD画質へ補正する技術も発表



Codian IP GW3500 シリーズ



### システム構成例(中心の青色が IP GW3500)

英 Codian 社は、SIP/H.323 ゲートウェイ装置「Codian IP GW3500 シリーズ」を発表。

ラック搭載が可能なアプライアンス型装置。SIP と H.323 プロトコルの変換やビデオや音声規格のトランスコーディングを行う機能を提供する。IPネットワーク上の端末間の通信は、この端末が使う音声やビデオの符号化方式、使用する帯域の幅、映像の解像度に関わらず、お互いにその最善のスペックでコールが可能となる。

テレビ会議管理運営システム「Codian Management Platform(コーディネーション・マネジメント・プラットフォーム、CMP)」。

CMPは、Scheduler(スケジューラー)とDirector(ディレクター)から構成されており、Codian社のインフラ製品(MCUなど)やH.323に対応したテレビ会議端末の管理・運営・監視、そして会議の予約などを簡単に行えるシステム。

HDテレビ会議対応の多地点接続装置「MCU 4500シリーズ」向けのアップグレード機能としてClearVision(クリアビジョン)。

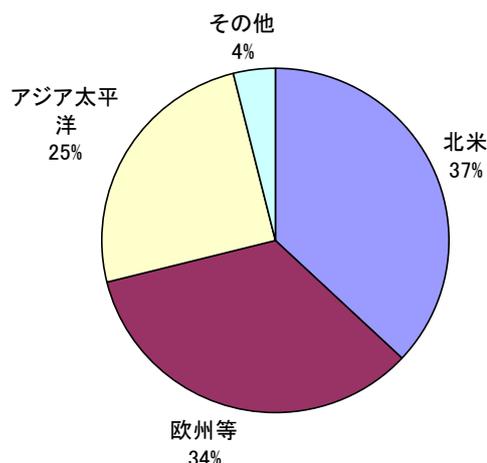
ClearVisionは、SD(従来のテレビ会議システムの解像度、CIF、4CIFなど)の映像解像度を、HD解像度に近いレベルまで補正する技術。SDとHDテレビ会議混在の多地点テレビ会議でのSD解像度とHD解像度との見た目の落差を少なくすることで、解像度の違いによる違和感を軽減する効果を持つ。

関連記事 Codianレポート:CNAレポート・ジャパン Vol.9 No.5 2007年2月28日号)

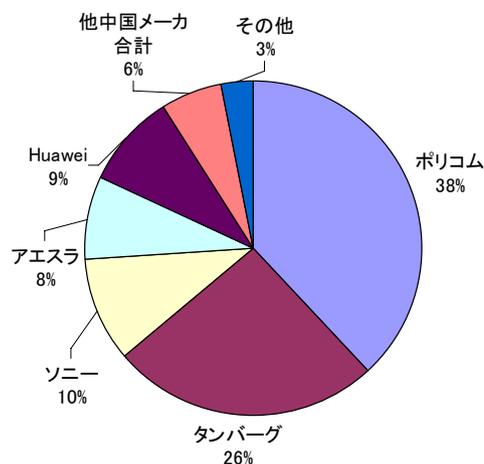
**【海外 news】米 Wainhouse Research 社、2007年1月-3月期ワールドワイドテレビ会議市場の結果を発表**

米の会議システム専門調査会社である Wainhouse Research 社(ウェインハウス・リサーチ)の発表(以下掲載グラフ)によると、2007年第一四半期(1月-3月期)のテレビ会議システム出荷台数は、ワールドワイドで48,808台を記録した。2006年10月-12月期の47,113台に比べ3.6%増だったが、2006年第一四半期の38,267台に比べ27.5%の大幅な伸びを示した。同調査会社によると、「3四半期連続で好調な結果。」のコメントを発表している。

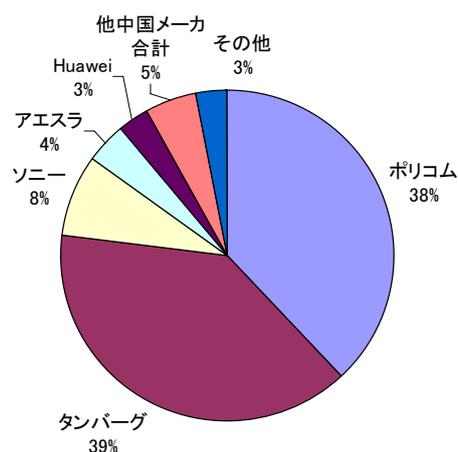
同社からは四半期毎にSpotCheck report サービスが提供されているが、集計に際して、アエスラ、ポリコム、ソニー、ライフサイズ、VTEL、タンバーク、Codian、RADVISION、そして、中国系の Huawei、Dvision、Kedacom、ZTE、Avcon、Amplskyなどが協力している。



テレビ会議システム地域別売上



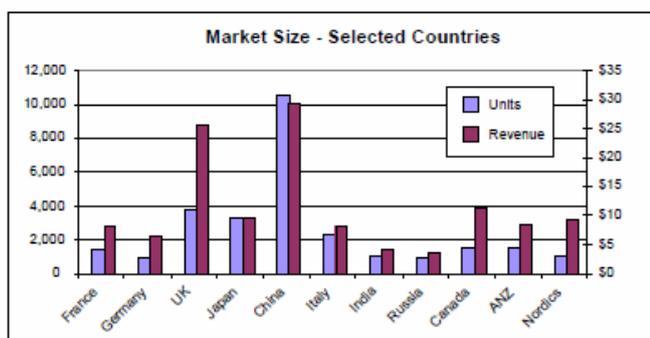
テレビ会議システム端末出荷台数ベースのシェア



テレビ会議システム端末売上ベースのシェア

	Q1-06	Q4-06	Q1-07	Seq Growth	Annual Growth
Modular Systems	\$164.2	\$219.2	\$228.2	4.1%	39.0%
Executive Systems	\$15.3	\$21.0	\$21.5	2.6%	40.6%
Total Group Rev.	\$179.6	\$240.2	\$249.8	4.0%	39.1%
Infrastructure Rev	\$46.1	\$74.2	\$68.82	-7.2%	NA
Modular Units	32,897	39,541	41,042	3.8%	24.8%
Executive Units	5,370	7,572	7,866	3.9%	46.5%
Total Group Units	38,267	47,113	48,808	3.6%	27.5%

売上、出荷台数、対前四半期伸び、対前年同期比伸び



青棒は、出荷台数、赤棒は、売上。

左から仏、独、英、日本、中国、イタリア、インド、ロシア、オーストラリア/ニュージーランド、ノルデック(デンマーク、ノルウェー、スウェーデンなど)

#### Videoconferencing market update:Q1-2007

May 24<sup>th</sup>, 2007

<http://www.wainhouse.com/files/wrb-08/WRB-0818.pdf>



Wainhouse Research, LLC

<http://www.wainhouse.com/>

SpotCheck の詳細:

<http://www.wrplatinum.com/Content.aspx?CID=7406>

#### ショートニュース

【海外 news】HD ビデオ会議システムを専門に開発する米メーカーLifeSize Communications 社の発表によると、米調査会社 Gartner 社の“cool vendor(クールベンダー)賞を受賞した。このクールベンダー賞は、HD ビデオ会議システム

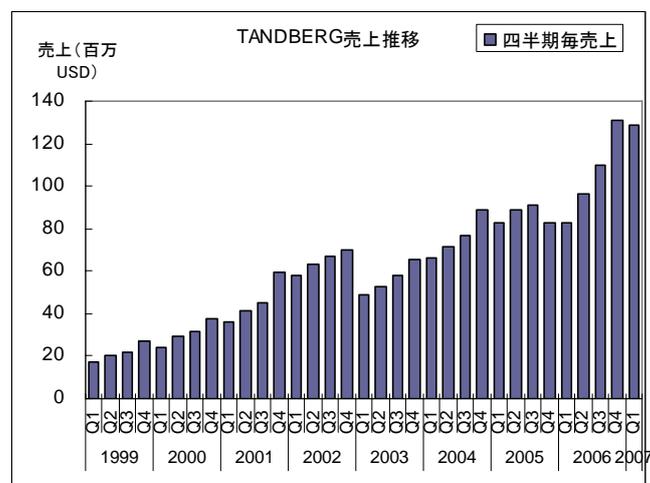
の開発を業界で初めて対応したことで革新的であり、業界に対してインパクトがあった、さらに、興味深い製品である、ことから受賞することとなった。Cool は、good(良い)に相当する意味。

【海外 news】イスラエルのテレビ会議メーカー Emblaze-VCON(エンブレイズブイコン)社は、より低コストにかつ効率よく、また、個別のユーザーニーズにテーラーメイドで対応できるプロフェッショナルサービスを開始する。プロフェッショナルサービスには、顧客の個別のニーズの分析を目的としたコンサルティングを始め、それを基にソリューションの検討、設計、導入、さらに、導入後のメンテナンスサポートまで導入進捗管理も含め提供する。

#### 【海外 news】業績発表(2007年1-3月期)

\* Nasdaq 上場等企業の業績レポート。

#### TANBERG(タンバーグ社、ノルウェー)



ノルウェーのビデオ会議メーカータンバーグ社の2007年第一四半期(1月-3月期)の売上は、1億2850万USD(約156億2千万円)を記録、前年同期の8270万USD(約100億5千万円)に比べ50%以上の伸びを示した。また、同四半期の出荷台数は、12,866台と、前年同期の8,124台から58.4%増となった。

売上の地域別内訳は、北米の6,590万USD、欧州・中東・アフリカの4,980万USD、アジア太平洋の1,270万

USD と、それぞれ前年同期比 50%以上を確保しており、一般的に季節変動によるマイナス影響を受けやすい第一四半期にもかかわらず、各地域における業績は好調な結果であった。

2007 年においては、テレプレゼンスを代表としたハイエンド製品ラインナップの拡大、グローバル顧客を対象とした販売活動の強化、アジア地域での事業拡大などを柱とした事業展開を強力に推し進める。

加えて、IPコミュニケーションの普及とともに、音声、ビデオ、デスクトップコラボレーションの融合を推進し、相手に直接会っているかのようなやりとりを可能とする Natural Communication(ナチュラル・コミュニケーション)を実現するソリューションを提供し市場での同社の地位を確保していく考え。

## セミナー・展示会情報

### 【国内】

HD ビデオ会議システム 活用セミナー  
「Polycom HDX 9000 シリーズを活用した遠隔講義システムのご提案」

日時:6月6日(水) 午後2回開催

13:30~15:00(受付開始 13:00)

16:00~17:30(受付開始 15:30)

会場:東京本会場、および、大阪サテライト会場

主催:プリンストンテクノロジー、ポリコムジャパン(共同開催)

詳細・申込:

<http://www.princeton.co.jp/polycom/seminar/20070606.html>

プレミア グローバル サービス 「オンライン セミナー」 Web 会議サービス「ReadyCast」と、デスクトップから Fax の送受信、保存、ファイル、転送、トラッキングを可能とするソリューション「Fax2Mail」の紹介

日時:2007年6月7日(木)

10:00 - 10:40 または 11:00 - 11:40 (約 40 分)

参加方法:電話とインターネット接続可能な PC で参加が可能

主催:プレミア グローバル サービス

詳細・申込:<https://ww1.premconf.com/jp/Seminar1.asp>

申込締切:2007年6月5日(火)

### 【海外】

Telepresence World 2007

日時:6月4日-6日

会場:University of San Diego(米加州)

主催:Hemisphere Expo Services, Inc.

詳細:<http://www.telepresenceworld.com/>

WR Collaboration Summit 2007, San Francisco, CA USA

会期:6月5日-7日

会場:The Holiday Inn Golden Gateway(アメリカ、サンフランシスコ)

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細:<http://www.wainhouse.com/sanfran07/>

## 講演資料

5月16日に日経BP社主催の次世代コミュニケーションフォーラムにて講演させて頂きましたが、私のセッションにご参加いただきました方いらっしゃいましたらこの場にて御礼申し上げます。有り難うございました。

その際の配布資料をCNAレポート・ジャパンのウェブサイトへアップいたしました。もしご興味ございましたら、下記からダウンロードしていただければ幸いです。

<http://cnar.jp/home/CNAReportJapan.pdf>

## 編集後記

CNAレポート・ジャパンへ、日々ご協力、ご支援誠に有り難うございます。今号もご覧頂きまして有り難うございました。

【海外 news】については、海外企業による、製品あるいはサービス等に関するニュースとなっておりますので、必ずしも日本市場でも提供される、あるいは提供される予定とはなりません。海外の動きを伝えるためにレポートしております。

スポンサー広告、講演、社内勉強会講師、市場調査コンサルティングなど募集しております。

また次号も宜しくお願ひ致します。

CNAレポート・ジャパン代表 橋本 啓介